

介護老人保健施設 桃李園 広報誌

ももとすみや

桃李園GROUP

- ・介護老人保健施設
- ・短期入所療養介護
- ・訪問介護
- ・居宅介護支援
- ・通所リハビリテーション
- ・訪問リハビリテーション
- ・障害福祉サービス
- ・ケアハウス桃李
- ・デイハウス与板・デイホーム与板

■発行/
社会福祉法人 長岡老人福祉協会
介護老人保健施設 桃李園
長岡市西津町4630番地
TEL (0258) 47-3003
ホームページアドレス
<http://tourien.jp/>

第48号

桃李園は
開設25年を迎えました

とうり い したおの みち な
～桃李もの言わざれども 下自ずから蹊を成す～

「桃李園」と名付けていただき25年。

桃李園への道が、利用者様やそのご家族、地域の皆様の笑顔に繋がりますように、
私たちはお1人お1人に寄り添って、1日1日を積み重ねてまいります。

桃李園25年



施設長 医師 小池 宏之

老人保健施設「桃李園」は平成8年10月、47人の職員でスタートしました。殆どの職員は福祉に未経験でしたが、新しい仕事を始める意欲と熱意に溢っていました。そして当初の職員の多くは今でも桃李園に関わっています。

その後平成11年に、「居宅介護支援事業所、訪問介護事業所」、桃李園の上階に「ケアハウス桃李」が開設されました。

平成17年には、与板に無料のたまり場「忘時庵」を開設し、「桃李園訪問介護与板サテライト、居宅介護支援センター与板」を平成18年に、さらに通所事業に発展し、平成19年に「桃李園デイハウス与板と桃李園デイホーム与板」が開設され、桃李園グループが形成されました。

25年間の主な出来事を列挙すると、まず平成10年に桃李園家族会が発足し、桃李園は様々な面で支えられてきました。

平成11年から、インフルエンザ予防接種を全入所者・全職員に無料で行い、老健桃李園入所者のインフルエンザ罹患者は殆どになりました。皮肉なことに、その後インフルエンザワクチン接種の一部公費負担が始まり、今は一部有料ですが。

平成15年、肺炎球菌ワクチンの接種を開始しました。肺炎は当時施設入所者の死因の第1位でしたが、ワクチンは、接種者の肺炎罹患率を大幅に下げ、肺炎による死亡者を減少させることに成功しました。その後も看護・介護の努力もあって、誤嚥性肺炎の減少が続き、肺炎による死亡は非常に少なくなっています。

平成21年からは、高齢の利用者の看取りを積極的に行うこととしました。桃李園の看護とケアマネジャーは、看取りを行う方の家族に対するケアを積極的に行ってています。

今、桃李園グループの職員は117名となり、お世話した利用者は2000名に達します。色々なことがありました。思い出でもあり、今後につながる経験もあります。我々は利用者を親身にお世話して、利用者には満足を、ご家族には安心を与えられるように日夜努力していきます。

療養棟看護

総員 19 名の個性豊かで明るく元気いっぱいなナースたちが三交替で療養棟・通所リハビリに勤務しています。

「家族の介護を凌ぐ介護を提供する」の基本方針に基づき、家庭的な雰囲気を大切にし、思いやりの心と笑顔で「寄り添う看護」を実践しています。



「寄り添う看護の実践」

2021 年、桃李園は 25 周年を迎えました。前年より新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大、長期化しています。ワクチン接種は始まりましたがコロナ禍の終息は見えません。ご利用者・ご家族共に会いたい時に会えない、我慢の時期が続いている。このような状況で今後ますます要介護者の増加が見込まれ、生活の場における看護の力が一層求められると思います。生活支援の視点を持った看護の実践が必要です。

桃李園の良いところは職種を超えて関係が良好で働きやすいこと、基本的なケアを丁寧に行っていることだと思います。今後も良いところはそのままに、桃李園に入所して良かったと言ってもらえるように多職種協働、寄り添う看護の実践に努めていきたいと思います。



看護長
渡辺真奈美

療養棟介護(一般棟)

一般棟では、医療的なケアを必要とする方や在宅復帰を目指しながらリハビリに励み療養される方、看取りを希望される方などが入所されています。その方にあった適切なケアを提供出来るように介護・看護・リハビリなどの全職種が連携し、利用者様が安心して穏やかに生活できるように努めております。

職員紹介

介護・看護職員 集合～



6月・ミニ運動会!! 盛り上りました

晴れた暖かい日は外気浴を行います
春は桜、チューリップの花がきれいに咲きました

療養棟介護（認知症専門棟）

認知症専門棟では認知症のために支援が必要な方々に対し、一人ひとりの利用者様の個性や心身状況、生活歴などを把握した上で日常生活の援助を行います。

「家族介護を凌ぐ介護を提供する」という基本方針のもと、一人ひとりに寄り添う対応を心がけています。

職員紹介



福祉用具を活用した安全・安楽な移乗を行っています

敬老会★職員による余興

「これからも一日一日」

桃李園は25周年を迎えました。これは、開設した平成8年10月から今日までの一日一日を、利用者様とご家族、その日出勤した職員とがつくりあげ、積み重ねてきた歴史です。

25周年という節目ですが、これも単なる通過点に過ぎません。私たちがすることは、これからもまた、今日、明日、明後日と利用者様や職員、その家族のために一日をつくりあげていくことです。その「ために」という部分を大切に丁寧に柔軟に考えながら、一日一日をつくりあげて積み重ねていくことだけです。ただそれだけだと思うのです。



介護長
吉澤 和臣

リハビリテーション

リハビリ職員は現在 5 名です。主に長期・短期入所者様、通所リハビリテーション利用者様の個別リハビリテーションを行っています。その他、訪問リハビリテーションも行っています。

利用者様一人ひとりの心身機能に合わせたリハビリを提供しています。その一環として「音楽療法」や「園芸活動」など、生活の中で楽しみとなる活動にも力を入れています。

また、安樂な介護方法の手段としてノーリフティングケアの普及を図っています。

音楽療法



季節に合わせた歌や馴染みのある歌を選曲しています。楽器演奏や体操もあります。



転ばない体操

みんなで楽しく、全身を使った運動を行います。



活動紹介



園芸活動

畠の先生は利用者様です。育てた野菜は秋の収穫祭で調理され、皆様と美味しいいただいているます。

個別リハビリ



身体機能を評価し、状態に合わせた機能訓練を行います。



指先を使う手芸や頭を使う将棋など、作業活動を通して心身機能の維持・向上を図っています。



年に1度、サンプラザ長岡様とのゲートボール交流試合のため、日々練習に励みます。



どうやって身体を使うと安楽に移動できるか、介助する側のコツを指導しています。

「今日一日を桃李園で過ごせて良かった」

私たちが目指すところは、ご利用者・ご家族、それを支える地域はもちろんの事、一緒に働く仲間も大切にする施設になるという事です。日々、リハビリ専門職として出来ることは何かを考え、ノーリフティングケアの推進など、様々な角度から支援していくよう努めています。

時々、こんなことがあります。「今日は何があるが～？」ご利用者からの声かけと紫色の制服を追う視線。そのご期待にお応えしていきたい。それがリハビリ職員の気持ちです。皆様の笑顔とお気持ちが、私たちの原動力となり、明日への道へと繋がっていきます。

これからも「感謝の心を忘れず、謙虚な姿勢で誠実に、常に笑顔で」この言葉を胸に刻み、皆様との時間・仲間との時間一瞬一瞬を大切にしながら、歩んで参ります。

「今日一日を桃李園で過ごせて良かった」そう思っていただけることが一つでもあるように…



リハビリテーション
主任
安藤 優子

通所リハビリテーション

在宅生活を送られている、要支援・要介護の認定を受けられた方々に、居宅サービス計画書に基づいたサービスを提供しています。心身の機能維持・向上及び低下を予防することができるようにお手伝いをさせて頂きます。医師の指示の下、リハビリ職員（理学療法士・作業療法士）により、個別リハビリテーションも実施しております。利用者様は目標達成に向けて、自主トレーニングやレクリエーション、頭の体操などに取り組んでいます。



通所リハビリテーション職員総勢 13 名。利用者様一人一人のニーズに沿ったサービスを提供して参ります。そしてご利用中は充実し楽しく過ごしていただくことを心掛けています。



夏祭りではみんなで
歌い、踊りました。



自主トレの様子。



恒例の?
シンクロ大会!

余暇活動で作品作りに
取り組まれている様子。



職員体張つてます!!



利用者様の共同作品。

「より豊かな毎日をお送りいただくために」

「いつもありがとうございます。あなたたちの笑顔見て元気貰ってる。」と言って下さる方がいます。

～いえいえ、私共の方こそ皆様から活力を頂いています。

「やりたいこと?とくにないなあ。」と仰る方がいます。

～申し訳ありません。私共の力量不足です。

私共の仕事は皆様の生活を支えることです。利用者様は、病気や事故や加齢に伴う衰えなど、様々な理由でこれまでとは違う生活を送ることになられ、私共は以前の生活にどれだけ近づけるかという観点で支援することとなっていますが、状況が変わった今だからこそできることがあると思います。生活の中の楽しみとして、「今日も桃李園に来て良かった。」と思ってお帰り頂けるよう、そして、皆様の生活がより豊かになるようにこれからも日々のサービス提供に努めて参ります。



介護主任
穴沢 勝也

心 居宅介護支援事業所

ご本人・ご家族が望む自宅での生活を一日でも長く送られるようにケアプランの作成を行っています。地元の深沢地域だけでなく、ご縁があれば川東地区や小国圏域まで幅広く訪問させていただいている。介護サービスや地域の力・資源を把握し、引き出しを多く持つて支援できるよう頑張っています。



「ご本人の思いに寄り添って」

「住み慣れた自宅で～」「住み慣れた地域で～」一日でも長く過ごしたい、と居宅支援を行う中で度々お聞きする言葉です。ご本人・ご家族が、自身の思いをしっかり表出できる関係を築き、思いに寄り添った支援が出来るよう心掛けています。

ダイレクトにご本人の生活・ご家庭に入る業種であり、それまで経験なさった事や考え方等に触れ、私自身の人生においても学びの機会となっています。

母体に老健施設を持つ居宅事業所ですが、それに甘んじる事なく、他職種・他部署との連携を図り、次なる時代へ飛躍できるよう、一日一日を大切に支援にあたりたいと思います。



管理者
林 理枝

心 訪問介護事業所・障害福祉サービス事業所

介護福祉士が家庭を訪問し、入浴・排泄・食事・洗濯・掃除等で支援が必要なところをお手伝いし、安心して在宅生活が送れるようサポートしています。お一人お一人の今までのやり方を尊重しながら、必要なサービスを提供します。



「今の時代を自分らしく」

令和という新しい年号にかわり「ただ平和に過ごしたい」というささやかな願いも叶わず、大変な時代を過ごしています。その中でも、利用者様には自分らしく生活を続けて貰えるよう願っています。

常勤ヘルパーは4人と少ないですが、部署内外と連携を取りながら、利用者様が健やかに日常生活を送ることができるよう、お手伝いしていきたいと思います。

「住み慣れた家で自分らしく暮らしたい」を応援します！



管理者
渡辺千代子

ケアハウス桃李

入居者の自主性と自立を基本とした高齢者向けの住居施設です。主なサービス内容は、①食事の提供②入浴の機会の提供（時間を決めて浴室を開放します）③生活相談④余暇活動等の支援⑤緊急時の対応等があります。介護保険上では在宅と位置付けられているため、要介護認定を受けていれば訪問介護や通所介護等の在宅サービスを受けることが出来ます。

作品作り

日常の風景



お花見



梅シロップ作り



食事前にお茶をご用意します

音楽サークル



気持ちよくお入りいただ
けるように浴室清掃を
徹底しています



おいしい食事をどうぞ



「充実した生活を送っていただくために」

お一人お一人に充実した生活を送っていただくために、来るべき『人生100年時代』に向けて余暇活動の支援を積極的に行っていきたいです。

コロナ渦で面会禁止や外出の制限など閉塞感のある毎日ですが、そんな中でもマイペースに日々の生活を続けていられる方もたくさんいらっしゃいます。職員同士で密にコミュニケーションをとり、入居者の皆様を少しでも支えていけるよう努めて参りたいと思います。

そして、一人でも多くの入居者の方が「ケアハウス桃李に入居して良かった。」と安心していただける施設を目指していきたいです。



施設リーダー
(生活相談員)
平沢 理恵

桃李園 桃李園与板事業所

地域密着型通所介護 桃李園デイハウス与板 認知症対応型通所介護 桃李園デイホーム与板

製作活動や趣味活動、各種体操、機能訓練を楽しみながら取り組んでいただいている。地域との交流を目的とした、少人数の外出活動にも力を入れてきました。地域の皆さんにサービスの様子を知っていただくために、「運営推進会議」を定期的に開催しております。

地域交流活動の
様子



運営推進会議で
意見交換



桃李園
デイハウス与板
デイホーム与板
スタッフ



「地道に丁寧に」

与板開設準備室から関わらせて頂き、14年になりました。ようやく地域に馴染んできたことを少し実感できるようになりました。今後も、与板を中心とした地域の皆さまの声に、謙虚に耳を傾けながら、一步一步地道に活動していきたいと思います。



与板地域
統括管理者
杉山 修司

「今後の飛躍にむけて」

地域密着型事業所として、より良いサービスを提供できるよう、おひとりおひとりの思いや、ご希望に合わせた支援を行っていきたいと思っております。

桃李園が利用者の皆様、ご家族からより一層信頼される施設となるよう日々努力していきたいと思います。



管理者
五十嵐美奈

心 居宅介護支援センター与板

現在ケアマネジャー、4名で業務に当たっています。与板、中之島地域を中心とした近隣の方たちや、出雲崎町よりも、声をかけていただき、担当の利用者様宅に伺っています。色々な利用者様宅に伺うと、その地域性を強く感じます。その地域の特性に見合った関わりに気を付けて対応を心がけています。



居宅介護支援センター与板 スタッフ

「与板の地に根差して」

現在の事業所は、平成17年に桃李園が開設した『忘寿庵』という場所を利用しています。当時は、地域のたまり場や、サークル活動の会場として利用されていました。

たまり場としての役割は終えましたが、今でも地域の方や、利用者さんが、相談に来てくださったり、お茶のみに来てくださいます。気軽に立ち寄れ、相談できる場所が町の中にあるという事で、身近に感じてもらい、地域の皆様にも安心感を持っていただけるように、今後も頑張っていきたいと思います。



管理者
荒木 孝子

相談・栄養・施設管理・事務

桃李園の正面玄関を入って向かいが、事務室になっています。こちらには、支援相談員、管理栄養士、施設管理員、総務課職員が桃李園の窓口として常駐しています。

職員一同、利用される皆様の気持ちに寄り添って、親切丁寧な対応を心掛けています。お困りごとやお聞きになりたいことなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。



私たちがお出迎えいたします。
電話やメールでのお問い合わせ、面会制限継続中の現在はご入所者の洗濯物の受け渡しにも対応しております。



ご連絡・ご相談、
お待ちしております。

夜の桃李園は
夜警の私たちに
お任せください!



洗濯物の受け渡しの
様子



「そしてこれからも」

法人は、創立 50 周年を迎え、桃李園は、設立 25 周年を迎えました。桃李園は、(1996 年) 平成 8 年 10 月 11 日に開設、3 名の入所者を受け入れ動き出しました。開設時の職員は、47 名 (現在桃李園グループ全体で 117 名)。職種は替われど、開設時から頑張っている職員も 15 名います (皆気持ちは開設時のままで (^_^\v))。

25 年…早いものですね。私たちは、シンボルマークである「桃とハート」のもと、家庭的な雰囲気の中で、医療・看護・介護・リハビリを提供してきました。そしてこれからも、より質の高いサービスを提供できるように心掛けて行きたいと思います。



事務長
仙田 浩

異動のごあいさつ



うえだ ゆか
上田 由夏 (介護福祉士)

介護老人保健施設サンプラザ長岡より出向解除

4月に人事交流から戻ってまいりました。他施設での経験を桃李園でも活かせるように頑張りたいと思います。皆さん、よろしくお願ひします。

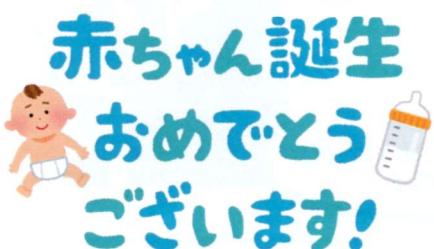


いしい かける
石井 翔 (介護福祉士)

桃李園デイハウス与板・桃李園デイホーム与板より
桃李園療養棟へ

不慣れなことが多いと思いますが、よろしくお願ひいたします。

おめでとう!



谷澤 彩



佐藤達郎

新人さんいらっしゃい



桃李園 療養棟
高橋かなえ
(介護福祉士)

8月より入職しました。
皆様と楽しくお話ししながら、日々の生活をサポートできたらと思います。
どうぞよろしくお願ひします。

Q. 趣味を教えてください。

A. 「山登り」です。

富士山にも登りました。
最近は弥彦山を
登ってきました。



編集後記

桃李園は開設25年を迎えました。この25年間、
皆様はどんなことがありましたか。振り返ると様々な思い出がよみがえるのではないでしょうか。

小さな一日が大きなあゆみになると思うと、日々を大切に、そして前向きに過ごしたいと思います。

